

# 移民と俳句とブラジルと

学校所在府県：京都府	指導時数：5時間
学校名：立命館宇治中学校・高等学校	対象学年：中学3年生 2クラス
名前：山本 瑞絵（国語）	対象人数：78人
実践教科：国語	

## 1. 教師海外研修を通して感じたこと

教師海外研修では、単なる異文化理解というだけでなく、移民の歴史や日系社会から、自分の国の歴史の一端を知る機会があった。「日本人は信頼出来る」今回の研修の中で、その言葉を日系人の方から何度となく聞いた。ブラジルにおいて日本人の信頼度が高いということ、そしてたくさんの成功した日系企業があることを私は初めて知った。移民した日本人の功績は明治維新における奇跡的な近代化、そして戦後の灰燼の中から復興を成し遂げた日本人の姿とかぶるものがある。困難や挫折を繰り返しながら、最近では JICA のような国の支援も受けながら、一人ではなく団結して這い上がっていく日本人の強靭で優しい精神は印象的だった。こうした現状を目の当たりにしたことで、未来を生きる子ども達に、ぜひこの姿を見せたい、伝えていきたいと強く感じた。

## 2. カリキュラム

### (1) 実践の目的・背景

教師海外研修では、ブラジルに 150 万人いるという移民の歴史や移民文学に触れる機会を得た。また、移民によって日本からブラジルに住むことになった方々が日本の文化と心を大切にしている現状を知り、ひどく感銘を受けた。ただ、同時に「日系人は自分達が祖国日本に忘れ去られている、という感覚を持っている」ということを知った。事実、現代の中学生のほとんどは日系社会や移民の歴史をよく知らない。

そこで、今回の授業実践では、ブラジルでいとなまれた移民文学—特に「俳句」を取り上げ、それを国語の教材として国際理解をはかる授業はできないかと考え、今回の授業案に至った。今回の授業は中学3年生国語の「俳句」の単元の発展学習として位置づけている。また、今回教材として使用した「移民俳句」は、研修中に会ったトメアスー俳句会の方々から頂戴した句集から抜粋させてもらった。

### (2) 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
<b>1 時限目</b> ブラジルと日本のつながりを知ろう！ *ブラジルに息づく日本の文化を知る	<ul style="list-style-type: none"><li>●ブラジル在住の女性の俳句からブラジルと日本のつながりを考える。</li><li>●パワーポイントのスライドを使ってブラジルで見つけた「日本」を紹介する。</li><li>●日系人のホストファミリーからのインタビューを聞く。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●パワーポイントで作成したスライドと写真</li><li>●日系人の方のインタビュー（動画）</li></ul>
<b>2 時限目</b> 日本からブラジルへの移民の歴史について知ろう！ *ブラジルに移民したきっかけと苦勞をどのように乗り越えてきたのかを知る。	<ul style="list-style-type: none"><li>●DVDを鑑賞し、日本からブラジルへの移民のきっかけと移民先での苦勞を知る。</li><li>●ブラジルで出会ったブラジルで成功をした人達を紹介する。</li><li>●移民した方々がどのように苦勞を乗り越えてきたのかを考える。</li><li>●日系人の方のインタビューを見る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●DVD「アマソンの歌」</li><li>●日系人の方のインタビュー</li></ul>

<p><b>3時限目</b> 移民俳句を知ろう！</p> <p>* 移民俳句の特徴をとらえる。 * これまでの学習をふまえ、移民俳句に込められた背景と作者の心情をとらえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移民俳句を紹介する。</li> <li>● 移民俳句の特徴を考える。 －アマゾン季語 －農業や自然を歌ったものが多い</li> <li>● グループで移民俳句の一つを選び、その背景を考える。 －背景をもとに、俳文を小説風に考える。(宿題)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パワーポイントで作成したスライド</li> <li>● 移民俳句のプリント</li> <li>● ワークシート</li> </ul>
<p><b>4時限目</b> 移民俳句の作者になりきろう！</p> <p>* 五感で俳句を味わう。 * 想像力を言葉にすることで、語彙を豊かにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ワークショップを通してこれまでの学びの確認をする。 －モノと写真とそれにまつわる文章と移民俳句をつなぎあわせる。</li> <li>● 各自創作した俳文を共有する。</li> <li>● 俳文をもとに、脇句を創作し、グループ内で意見交流をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アサイーの種、カカオ豆、コショウなどの俳句に関係するモノ。</li> <li>● モノにまつわる文章</li> <li>● 移民俳句</li> <li>● ワークシート</li> </ul>
<p><b>5時限目</b> 移民俳句から学んだことをふりかえろう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループごとに俳句と脇句の発表。</li> <li>● 移民俳句の作者からのメッセージを見る。</li> <li>● 今後、移民俳句をたくさんの人に知ってもらうためにどんなことができるかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パワーポイントで作成したスライド</li> <li>● ワークシート</li> </ul>

### 3. 授業の詳細

## 1 時限目：ブラジルと日本のつながりを知ろう！

ねらい…ブラジルに息づく日本の文化を知る

#### ◆内容◆

- ① 「お〜いお茶新俳句大賞」を受賞したブラジル在住の女性の俳句からブラジルと日本のつながりを考える。  
「アマゾンに92歳の初鏡 服部タネ」  
なんでアマゾン？という生徒の素朴な疑問から、移民の歴史や日系人の存在に簡単に触れる。
- ② パワーポイントのスライドを使ってブラジルで見つけた「日本」を紹介する。(写真①・②)  
・スーパーなどで売られている日本食品や日本の漫画  
・サンパウロの交番に掲示されている日本語の標語など
- ③ 日系人のホストファミリーからのインタビューを聞き、日系人の方がどれだけ日本を誇りに思い、大切にしているかを知る。

👉👉がポイント！

現地のインタビュー映像などは、子ども達の心をつかむ最高の資料！



写真①：交番に掲げられた日本語の標語



写真②：たこ焼き屋さん

#### 生徒の感想

- ▶ これまでブラジルと日本とはあまりつながりがないイメージでしたが、「たこ焼き」や漢字で書かれた標語とか吉野家とか、どれもなじみのあるもので見ていて嬉しくなりました。
- ▶ 日系人の方が言っていた、「日本人であることに誇りを持っている」というのは感動しました。

## 2時限目：日本からブラジルへの移民の歴史について知ろう！

ねらい…ブラジルに移民したきっかけと、その苦労を知る。また、困難をどのように乗り越えてきたのかを考える。

### ◆内容◆

- ① DVD「アマゾンのうた」の一部を鑑賞し、日本からブラジルへの移民のきっかけと移民先での苦労を知る。
- ② ブラジルで出会ったブラジルで成功をした人達を紹介する。
  - ・アグロフォレストリーとそれを進めてきた小長野さんを映像で紹介（写真③）
- ③ 移民した方々がどのように困難を乗り越えてきたのかを考える。
- ④ 小長野さんたち日系人の方のインタビューを見て、困難をどのように乗り越えてきたのかを知る。



写真③：小長野さん

### 生徒の感想

- ▶ 「棄民」と呼ばれてもなお日本の文化や日本人の心を守り続けているのだと思うと感動しました。
- ▶ インタビューの中で、初めてブラジルに行った時、畑もたがやせずに苦しんだけれども、こういった苦しさがあるから今の自分があり、これからも進んでいけるという話が強く心に響きました。

## 3時限目：移民俳句を知ろう！

ねらい…移民俳句に込められた背景と作者の心情をとらえる。

### ◆内容◆

資料①：アマゾン季語1 ▶

- ① 移民俳句を紹介する。  
(現地ですでにいただいた句集からいくつか抜粋したものを紹介)
- ② 移民俳句の特徴を考える。  
俳句に使われている日本にはない植物や動物などの写真を見せながら、アマゾンの自然を知る。
  - ・アマゾン季語
  - ・農業や豊かな自然を歌ったものが多い など
- ③ グループごとに移民俳句を一つ選び、その俳句についての背景などを考える。(資料⑤ワークシート1 使用)
  - ・使用されている季語について調べる。
  - ・俳句が詠まれた背景をグループで考える。
  - ・背景をもとに、俳文を小説風に考える。(宿題)



▲資料②：アマゾン季語2

### 生徒の感想

- ▶ 俳句という一つの文学で日本とブラジルがつながっているのはすごいことだと思います。また、日本でも失われつつある文化を遠く離れたブラジルの地で大切に思っているということが伝わりました。

## 4時限目：移民俳句の作者になりきろう！

ねらい…五感で移民俳句を味わおう！

### ◆内容◆

- ① ワークショップを通してこれまでの学びの確認をする。  
俳句に詠まれた実在のモノや匂いにふれ、想像力を豊かにする。

### ワークショップ

- ・モノと写真とそれにつわる文章と移民俳句をつなぎあわせる。
- 【モノ】アサイーの種・カカオ豆・コショウ・移民募集のポスター（写真）・移民の記述のある文学作品抜粋文・チョコレート
- 【写真】アサイーの木・カカオの木・コショウの木・移民船・木を伐採する人の写真
- 【文章】アサイーの説明文・カカオの説明文・コショウの説明文・移民した日の説明文・生活困窮で夜逃げした人の数を示した文
- 【移民俳句】

雨季明けてアサイ高値の巻かな	伊藤民栄
木漏れ日のスポットライトカカオ熟る	三宅昭子
アマゾン農世代を築く花胡椒	新井伯石
涸滝を見上げて着きぬ移民船	上塚瓢骨
夜逃げせし移民思うや枯野星	上塚瓢骨



▲写真④：授業の様子1



▲写真⑤：授業の様子2

### 👉👉がポイント！

モノや写真などを分類するワークショップは、子ども達にとっても知的好奇心をくすぐられる学習法の一つである。

- ② 各自創作した小説風の俳文をグループで共有する。  
(資料⑥ワークシート2)
- ③ 俳文をもとに、脇句を創作し、グループ内で意見交流をする。

### ◆所感◆

こちらの想像以上に子ども達は俳句の世界観を感じ取り、これまでの学びを生かした俳文や脇句を創作していた。創作させる意図は、俳句の世界観を広げることだが、授業をやるまでは子ども達がどこまでブラジルの生活を想像できるかが不安だった。しかし、創作作品を見ると、子ども達は資料などを通して作者の心情によりそった世界観を広げられていたように感じた。

### <生徒の脇句作品例>

※ここでの脇句とは、五七五の俳句のあとに七七の句を付け加えることを指す。  
脇句部分が生徒作品

万緑や緑の地獄と呼ばれし地	(脇句) この地に実るや努力の証
母が子に伝うアマゾン冷奴	(脇句) 故郷の味をまねして今日
移民して涙の隣 花ゴヤバ	(脇句) 心を照らす純白の花

### 生徒の感想

- ▶ 想像をふくらますのが楽しかった。ブラジルで作られた俳句は、日本と違って何か日本とは別の新鮮さを感じられました。
- ▶ 今まで体験したことのない学習だったため、おもしろかった。国語とブラジルをつなげられるということがこの授業によって分かった。

## 5時限目：移民俳句から学んだことをふりかえろう！

ねらい…学習の成果を発表し、その後の学習につなげる。

### ◆内容◆

- ① グループごとに俳文と脇句の発表。
- ② 移民俳句の作者からのメッセージを見る。
- ③ 今後、移民俳句をたくさんの人に知ってもらうために  
どんなことができるかを考える。



資料③：俳句を作った作者からのメッセージ▶

授業全体を通じた生徒の感想

- ▶ プレゼンやインタビュー、移民俳句を知って、昔ブラジルに行った人がどれだけ苦労をされたか、そして日本への愛着が本当にありありと分かりました。特にインタビューからは日本の私達に対して、人間性や未来において私たちがどうあるべきかということを学びました。
- ▶ 先生が出会った人達はたくさん私達へのメッセージをくれました。そのメッセージを聞いて「ああ、私も頑張らないといけないな。」とすることができました。住んでいるところは違えど、同じ日本人の血が流れているのは確かです。ブラジルの日本人の人達は日本人の良さを見つけ出してくれていました。それを気付かせてくれた授業でした。

## 4. 成果

今回の授業の大きな目的は3つあった。1つ目はブラジルに住む日本人、日系人の方々の困難に負けず夢をあきらめない「挑戦する姿」を紹介していくことで子ども達の夢や勇気につなげていくこと。2つ目は、ブラジルで息づいている「整理整頓」「躰」といった日本の道徳心、「日本人の心」を大切にされた姿などを紹介することで、その大切さを改めて伝え、日本を内省するきっかけを作ること。3つ目は、移民俳句を国語の時間の教材として取り上げることの可能性を模索することだ。「俳句」の授業の発展学習として定着すれば、継続的な学習教材として「国際理解」に貢献できる。

正直、国語の授業でどれだけ「国際理解」につながる授業ができるか不安だったが、俳句という日本の文学作品は少なからず子ども達とブラジルをつなぐ心の架橋になったと考える。子ども達の感想文からは、移民俳句を通してブラジルのことを良く知り、俳句を作った人達の思いに共感しているのがよく分かる。現地の方から子ども達に対するメッセージも心に響いたようだ。そして心に抱いたそれぞれの思いを「俳文」や「脇句」にたくすことで、ブラジルで作られた俳句が日本の子どもの中で輝きを増す結果となった。そうした点では3つの目的は一定達成できたと思う。

## 5. 課題

今回は日系社会にクローズアップした授業展開であったが、それは教師海外研修で学んだことのほんの一部である。また別なテーマでの授業内容もこれをステップにして考えていければと思う。また、今回の授業をあえて国語の時間で行なったのは、できるだけ継続的な授業をするためだ。移民俳句もできるだけ教材化して長く教えられるようなものにしていきたいと考える。

### 資料④：授業で使用した移民俳句

万緑や緑の地獄と呼ばれし地	高谷信夫	赤とんぼ古き思い出故里の庭	信政松枝
雨季明けや老農の四肢力満つ	新井伯石	万緑や天に突き出す鉄の塔	伊藤民栄
雨季深む青空恋しき一日かな	新井敬子	抜けきれぬ郷の訛や螢飛ぶ	池田アヤ子
始まりは足跡四つアマゾンの日	伊藤えい子	停電に喧噪やみし星月夜	鈴木耕治
青マンガ鈴なりの枝鳥休む	大槻京子	混迷の祖国を憂う除夜の鐘	新井敬子
寄せ焼きや脳裏に浮ぶ大農場	伊藤民栄	母が子に伝うアマゾン冷奴	峰下牛歩
木の実植う過去償うや老移民	高谷信夫	故郷の古き写真や花ゴヤバ	高谷信夫
花ゴヤバ咲き匂いてや句友の庭	池田アヤ子	移民して涙の隣花ゴヤバ	大槻京子
干し物の小躍りしてる雨季晴れ間	三宅昭子	雑煮食ぶブラジル人になりきれず	二見智佐子

